

## Ⅱ. 後期基本計画

# 施策40 生涯学習の促進

### 施策の目指す姿

だれもが、いつでも、どこでも学ぶことのできる環境が整備され、多くの市民が学習活動に取り組むとともに、学習した成果を地域活動などに活かしています。

### 施策の現状

第5次生涯学習基本計画に基づき、「自己を磨き 社会を支える 豊かな学びの振興」を基本目標に掲げ、生涯学習に関する各種施策を推進しています。

このうち、生涯学習に関する情報の提供については、市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」<sup>※1</sup>内に開設した「さやまなびいネット」において、生涯学習に取り組むサークルやボランティアなどに関する情報を提供するとともに、市民交流センター内の生涯学習情報コーナーにおいても、情報提供や相談業務などを行い、市民の学習活動を支援しています。生涯学習の機会や場の提供については、公民館などにおいて青少年期から高齢期にわたるライフステージに応じた講座、教育機関や地域団体などと連携した講座など各種事業を実施するとともに、学習の成果を発表する場としては、市民文化祭を毎年開催しているほか、公民館サークルが主体となり講座などを開催しています。

また、公民館などでは、社会教育を振興する観点から、人権、環境、高齢化、子育て等の現代的課題や地域課題の解決に向けた事業に積極的に取り組んでいます。

なお、地域の学習拠点の整備として、平成29年6月に新狭山公民館、令和2年4月に入曽地域交流センター（入曽公民館）の更新が完了しました。

図書館では、資料やレファレンスサービス<sup>※2</sup>などの充実を通じて、市民の学習・調査研究や課題解決のための情報収集活動を支援するとともに、第2次子ども読書活動推進計画に基づき、学校などと連携して子供の読書活動を推進しています。また、平成30年度には、利用者サービスの向上を図るため、蔵書検索速度を改善するとともに、新たな機能を追加するなど、図書館蔵書検索システムの更新を行いました。

指定管理者制度を導入している博物館では、企画展や各種講座などの企画により、独自性に富んだ運営を行っています。

※1 市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」とは

市の公式ホームページとは別に、地域に特化した行政情報と民間情報を一か所に集約し、自宅のパソコンや携帯電話から同時に閲覧でき、市民側からの情報提供なども可能な双方向性を持ったシステムのこと。

※2 レファレンスサービスとは

利用者からの資料や情報の求めに応じ、資料検索の支援や資料提供を行うサービスのこと。

### 施策の課題

- 学校、NPO、事業者等の多様な主体と連携・協働し、生涯学習に関する情報提供と機会や場の充実や、学習の成果の活用を促進する取り組みを一層進める必要があります。

### 主なとりくみ

#### (1)生涯学習活動の支援体制の充実

- 生涯学習に関する情報提供や相談などの体制を充実して、市民の学習活動を支援します。
- 生涯学習に関わる人や団体のネットワークを構築し、交流を促進することにより、市民の学習活動の裾野を拡大します。

#### (2)生涯学習の機会や場の充実

- 公民館などにおいて教育機関や公民館サークル等と連携して、幅広い世代の利用を促進するとともに、生涯学習に関するニーズに応じて各種の講座を開催するなどして、学習の機会や場を充実します。また、学習の成果を発表する場を充実します。
- 市民の学習活動を促進するなかでは、現代的課題や地域課題に関する学習を強化することにより、社会教育を充実します。
- 青少年期から高齢期にわたってだれもが主体的に学び、活動し、様々な交流を通じて生きがいを実感できるようライフステージに応じた公民館事業を充実します。
- 教育機関、地域団体及び公民館サークル等と連携して、市民の多様な学習ニーズに対応する公民館事業を充実するとともに、公民館サークル活動の活性化を図ります。
- 地域に伝わる伝統文化の継承、郷土を愛する意識の高揚を図る公民館事業を推進し、地域の教育力を培い、まちづくりにつながる公民館事業を推進します。
- 図書館の資料やレファレンスサービスなどを充実するなかで、市民の学習意欲に応える情報提供などの学習支援を行います。また、学校などの関係施設と連携して、人生をより深く生きる力を養うために欠かせない子供の読書活動を促進します。さらに、資料などの管理を充実し、ICT<sup>※3</sup>化を推進します。
- 博物館では、本市の歴史や文化の一端に触れるものや利用者の興味や関心を高めるものなど、独自性に富んだ事業を実施します。
- 市内大学との連携により、さやま子ども大学など各種事業の開催や、公開講座の情報提供などを通じて、市民の生涯学習の機会を拡充します。

#### (3)生涯学習の成果の活用

- さやま市民大学をはじめ、地区センターや地域交流センターなどと連携して、生涯学習の成果をまちづくりなどに活かす取り組みを促進します。
- 学校支援ボランティアセンターや学校応援団と連携して、生涯学習の成果を学校支援に活かす取り組みを促進します。

#### ※3 ICTとは

Information and Communication Technology の略で、情報処理及び情報通信に関する技術の総称のこと。従来から使われているIT (Information Technology) に代わる言葉として使われているもの。

## Ⅱ. 後期基本計画

### 施策の成果目標

項目	実績値	目標値
	令和元年度	令和7年度
生涯学習を月に一回以上行っている市民の割合	31.0%	40.0%
生涯学習の成果を自分以外のために活かしたいと思う市民の割合	54.4%	60.0%
生涯学習・社会教育に関する事業への参加者数	214,092人	223,000人

### 市民・団体・事業者などに期待する協働による行動

- 生涯学習に関心を持ち、学習活動を通じて自己を磨くとともに、学びを通じて、人とのつながりを育みましょう。
- 生涯学習で培った成果を、地域のまちづくりや学校支援などに活かしましょう。

### 関連するSDGsのゴール

- ゴール4 質の高い教育をみんなに
- ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう



## Ⅱ. 後期基本計画

第1章

第2章

第3章

第4章

教育文化  
第5章

第1節  
第6章

生涯学習の促進  
第7章



子ども大学さやま・いるま



公民館サークルの活動発表